

要望書 (案)

産婦人科医師の寺田と申します。私は20年ほど前から新生児聴覚スクリーニング検査推進委員として、毎年産科医療施設における本検査に関する実態調査を行うと共に普及に努めてきました。本検査は2004年ころより徐々に普及し現在では三重県のすべての産科医療施設で行われています。聴覚障害をもつ児は療育や支援をなるべく早くから受けることで予後の改善が見込まれるため、出生後間もなく受ける本検査は大変有意義なものと考えます。

検査費用は自費で6000円が一般的ですが、伊勢市では2015度より3000円の補助が受けれるようになりました。当時は全国的にも珍しく画期的なこととして称賛されました。その後この補助制度は伊勢市周辺の市町へ、さらに三重県全域に徐々に広がり昨年度からは県下のすべての市町で補助が受けれるようになりました。これにより検査費用を理由に検査を拒む方は減りましたが、まだ3000円の自己負担が生じるため検査を受けない方もみえます。

昨今の深刻な少子化は益々加速し日本の未来は危機的状況となる可能性があります。いま行政に最も望まれるのは言うまでもなく子育て支援をより充実させることと思います。その一助として聴覚スクリーニング検査の無償化、すなわち補助を6000円にさせていただくことを強く要望します。もし実現すれば全国的にも画期的なことで、今回もこの制度が周辺地域へさらに県全域へと広がっていくことになれば大変望ましいと考えます。

伊勢地区医師会理事
三重県新生児聴覚スクリーニング検査推進委員
寺田厚

伊勢地区医師会会長